

第4回 トリプルハンドポーカーを打ってみよう

クロンの『トリプルハンド』シリーズのポーカーのゲーム画面をみて、15枚もカードが表示されていると、ちょっぴり戸惑ってしまうというプレイヤーのみなさん！これで安心、今回はトリプルハンドポーカーの遊び方から、その効用まで取り上げてみたいと思います。

●トリプルハンドポーカーの遊び方

トリプルハンドポーカーの遊び方は、シングルハンドのビデオポーカーの遊び方とまったくかわりありません。戦略(ホールドの仕方)もシングルハンドと同じままです。

最初に5枚のカードが配られますが、ふつうのシングルハンドポーカーと同じように、残したいと思うカードを“ホールド”ボタンで選択してください。このとき、ホールドされるカードは、中段と上の段にもオモテになって表示されます(図1)。

ドロボタンを押すとカードを交換しますが、段ごとに別々の1組の残りカードから配ります(図2)。つまり、最初の5枚は、3ハンドとも同じで、続くカードはそれぞれ異なるカードの組を用いてゲームを行うというわけです。



図1 残したいカードをホールド



図2 各ハンドに合計3回のチャンス

●少ないチャンスを楽しむ

最初の5枚のカードでスリーカード(3 of a kind)が出来る確率は、1/47(約 2.1%) です。ところが、このとき同位札3枚(同じ数字の3枚)のカードをホールドして、カードを交換したあとにフォーカード(Four of a kind)が完成する確率は、さらに1/23.5(約 4.3%) にしか過ぎません。つまり、シングルハンドでは、せっかくのフォーカードの大チャンスである“スリーカード”でも、なかなかフォーカードに到達しないのです。

ところが、トリプルハンドポーカーを考えてみると、スリーカードが配られる確率はそのままですが、どれか1ハンドがフォーカードに発展する確率は、約 1/8.2(約 12.2%)となり概ね3倍になります。“チャンスを3倍たのしめる”というわけです！

●遊びをもっと身近に

プレイできる時間は限られています。クロンは、一回の来店でのプレイのなかでも十分に満足感・達成感を味わうことができるゲームづくりを目指しています。より短い期間で高い手役を経験できるトリプルハンドシリーズは、そのひとつのこたえです。

少し専門的な話になりますが、トリプルハンドのような複数ハンドプレイでは、シングルハンドプレイと比較して、ある一定ゲーム後の、勝ち負け(浮き沈み)の範囲は、ハンド数の平方根に反比例します。つまり同じゲーム数では、トリプルハンドプレイはシングルハンドプレイより、約 0.6 倍程度の範囲に収支がばらつきます。

これは、一見すると大きく勝越すことが少なくなるだけと思われがちですが、反対に大きく負け越すことも少なくなります。そして、ジャックポットのチャンスが失われたわけではありません。最初の5枚で高い手役が揃っているような場合は、すべてのハンドで同じだけ大きな配当を受け取れるのです！！(図3)

ジョーカーを含まない52枚のカードを用いるゲーム場合の確率です。



図3 1/649740*の奇跡?